



## 2025年2月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2025年1月14日

上場会社名 オープングループ株式会社  
(旧社名 RPAホールディングス株式会社) 上場取引所 東  
コード番号 6572 URL <https://open-group.co.jp/>  
代表者 (役職名) 代表取締役 (氏名) 高橋 知道  
問合せ先責任者 (役職名) 取締役 (氏名) 松井 哲史 TEL 03 (6778) 7588  
配当支払開始予定日 —  
決算補足説明資料作成の有無 : 有  
決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2025年2月期第3四半期の連結業績 (2024年3月1日~2024年11月30日)

#### (1) 連結経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年2月期第3四半期	5,274	17.7	334	△1.9	△23	—	131	△54.6
2024年2月期第3四半期	4,482	1.0	341	79.3	123	12.8	290	—

(注) 包括利益 2025年2月期第3四半期 140百万円 (△50.1%) 2024年2月期第3四半期 282百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2025年2月期第3四半期	2.17	2.13
2024年2月期第3四半期	4.79	4.66

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年2月期第3四半期	19,983	11,884	59.5
2024年2月期	19,243	11,667	60.6

(参考) 自己資本 2025年2月期第3四半期 11,887百万円 2024年2月期 11,662百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年2月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2025年2月期	—	0.00	—	—	—
2025年2月期 (予想)	—	—	—	3.00	3.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2025年2月期の連結業績予想 (2024年3月1日~2025年2月28日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	7,200	16.8	650	25.0	260	△1.2	460	177.1	7.59

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：有  
新規 1社 (社名) オートロ株式会社

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有  
(注)詳細は、添付資料P.7「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2025年2月期3Q	62,354,000株	2024年2月期	62,235,000株
② 期末自己株式数	2025年2月期3Q	1,331,804株	2024年2月期	1,414,788株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2025年2月期3Q	60,876,450株	2024年2月期3Q	60,615,149株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	5
四半期連結損益計算書 .....	5
第3四半期連結累計期間 .....	5
四半期連結包括利益計算書 .....	6
第3四半期連結累計期間 .....	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	7
(継続企業の前提に関する注記) .....	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用) .....	7
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記) .....	7
(セグメント情報等の注記) .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における我が国の経済は、経済活動の正常化と緩やかな回復の兆しが見られはじめましたが、原油をはじめとした原材料価格の高騰やロシア・ウクライナ情勢の長期化により、国内景気や企業収益に与える影響については依然として先行き不透明な状況です。

こうした環境の中で、当社グループは「BizRobo!」、「RoboRobo」、「Presco（プレスコ）」とともに、既存顧客の継続・拡大、及び新規顧客の獲得に注力しました。また、引き続き「RoboRobo」の製品開発を中心とした先行投資を行いました。

その結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は5,274百万円（前年同四半期比17.7%増）、営業利益は334百万円（前年同四半期比1.9%減）、経常損失は23百万円（前年同四半期は123百万円の経常利益）、親会社株主に帰属する四半期純利益は131百万円（前年同四半期比54.6%減）となりました。

セグメントごとの経営成績は次のとおりであります。

なお、第1四半期連結会計期間より、従来「ロボットアウトソーシング事業」としていた報告セグメントの名称を「インテリジェントオートメーション事業」に変更しております。また、「ロボットトランスフォーメーション事業」としていた報告セグメントの名称を「アドオートメーション事業」に変更しております。この変更は報告セグメントの名称変更のみであり、セグメント情報に与える影響はありません。

#### インテリジェントオートメーション事業

インテリジェントオートメーション事業においては、「BizRobo!」、「RoboRobo」とともに導入企業が拡大し、ストック型のライセンス収入が伸長しました。引き続き「RoboRobo」の製品開発を中心とした先行投資は継続するも、ライセンス収入の伸長により利益率は改善しました。

その結果、インテリジェントオートメーション事業では、売上高は3,486百万円（前年同四半期比14.2%増）、セグメント利益（営業利益）は297百万円（前年同四半期比85.5%増）となりました。

#### アドオートメーション事業

アドオートメーション事業においては、人材カテゴリ、及び新規参入分野の取扱高が伸長しました。また、取扱シェアを高めたプログラムでは手数料率が一部改善したことと、コストコントロールの強化により利益率も改善しました。

その結果、アドオートメーション事業では、売上高は1,120百万円（前年同四半期比5.0%減）、セグメント利益（営業利益）は384百万円（前年同四半期比11.1%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における流動資産は13,900百万円となり、前連結会計年度末に比べ472百万円減少いたしました。これは主に現金及び預金が388百万円、及び、売掛金が158百万円減少したことによるものであります。固定資産は6,083百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,212百万円増加いたしました。これは主にのれんが705百万円、及び、その他の投資その他の資産が518百万円増加したことによるものであります。

この結果、総資産は19,983百万円となり、前連結会計年度末に比べ740百万円増加いたしました。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における流動負債は6,015百万円となり、前連結会計年度末に比べ189百万円増加いたしました。これは主にその他の流動負債が522百万円増加した一方で、未払法人税等が225百万円減少したことによるものであります。固定負債は2,083百万円となり、前連結会計年度末に比べ334百万円増加いたしました。これは主に長期借入金が223百万円、及び、社債が128百万円増加したことによるものであります。

この結果、負債合計は8,099百万円となり、前連結会計年度末に比べ523百万円増加いたしました。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は11,884百万円となり、前連結会計年度末に比べ216百万円増加いたしました。これは主に利益剰余金が131百万円、及び、資本剰余金を43百万円増加したことによるものであります。

この結果、自己資本比率は59.5%（前連結会計年度末は60.6%）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2024年12月17日の「投資有価証券売却益（特別利益）の計上見込及び業績予想の修正に関するお知らせ」で公表いたしました通期の連結業績予想から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年2月29日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年11月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	11,516,731	11,127,813
売掛金	2,420,159	2,262,100
仕掛品	15,826	12,105
その他	420,107	498,800
流動資産合計	14,372,824	13,900,819
固定資産		
有形固定資産	86,108	177,275
無形固定資産		
のれん	266,739	972,657
ソフトウェア	641,415	481,950
ソフトウェア仮勘定	52,041	167,922
その他	72	72
無形固定資産合計	960,268	1,622,602
投資その他の資産		
投資有価証券	3,228,547	3,168,954
その他	595,794	1,114,237
投資その他の資産合計	3,824,341	4,283,192
固定資産合計	4,870,718	6,083,070
資産合計	19,243,542	19,983,890
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	1,796,076	1,604,530
短期借入金	1,500,000	1,500,000
1年内償還予定の社債	394,000	394,000
1年内返済予定の長期借入金	358,344	462,247
未払法人税等	248,353	23,083
賞与引当金	107,819	87,365
信託型ストックオプション関連損失引当金	17,424	17,424
その他	1,404,377	1,927,272
流動負債合計	5,826,394	6,015,922
固定負債		
社債	1,084,000	1,212,000
長期借入金	630,503	853,689
信託型ストックオプション関連損失引当金	34,848	17,824
固定負債合計	1,749,351	2,083,513
負債合計	7,575,745	8,099,435
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	5,914,618	5,920,310
資本剰余金	6,022,725	6,066,107
利益剰余金	211,894	343,853
自己株式	△494,897	△465,936
株主資本合計	11,654,340	11,864,334
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	8,345	23,293
その他の包括利益累計額合計	8,345	23,293
新株予約権	5,110	4,460
非支配株主持分	—	△7,634
純資産合計	11,667,796	11,884,454
負債純資産合計	19,243,542	19,983,890

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年3月1日 至 2023年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年3月1日 至 2024年11月30日)
売上高	4,482,540	5,274,739
売上原価	1,575,898	1,941,412
売上総利益	2,906,641	3,333,326
販売費及び一般管理費	2,565,443	2,998,693
営業利益	341,198	334,633
営業外収益		
受取利息	47	4,953
受取保険金	—	11,521
為替差益	967	—
受取手数料	—	3,989
その他	2,913	4,874
営業外収益合計	3,928	25,339
営業外費用		
支払利息	9,748	11,858
支払手数料	4,455	14,152
社債発行費	6,678	10,789
為替差損	—	2,963
投資事業組合運用損	44,545	40,302
持分法による投資損失	152,025	298,079
その他	3,984	5,421
営業外費用合計	221,438	383,567
経常利益又は経常損失(△)	123,689	△23,594
特別利益		
事業譲渡益	111,000	—
投資有価証券売却益	200,252	—
関係会社株式売却益	34,000	—
特別利益合計	345,252	—
特別損失		
投資有価証券評価損	9,980	13,999
信託型ストックオプション関連損失	55,632	—
本社移転費用	—	83,609
特別損失合計	65,612	97,609
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	403,329	△121,204
法人税等	108,936	△247,133
四半期純利益	294,392	125,929
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	3,964	△6,029
親会社株主に帰属する四半期純利益	290,428	131,958

(四半期連結包括利益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年3月1日 至 2023年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年3月1日 至 2024年11月30日)
四半期純利益	294,392	125,929
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△12,173	14,947
その他の包括利益合計	△12,173	14,947
四半期包括利益	282,219	140,876
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	278,254	146,906
非支配株主に係る四半期包括利益	3,964	△6,029



(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

当社の四半期連結財務諸表は、株式会社東京証券取引所の四半期財務諸表等の作成基準第4条第1項及び我が国において一般に公正妥当と認められる四半期財務諸表に関する会計基準（ただし、四半期財務諸表等の作成基準第4条第2項に定める記載の省略が適用されている。）に準拠して作成しております。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2024年5月28日開催の取締役会において譲渡制限付株式報酬、業績連動型株式報酬、及び株式報酬としての自己株式の処分を決議し、当中間連結会計期間に自己株式の処分を実施いたしました。この処分により自己株式が28,961千円減少し、資本剰余金が8,215千円減少しております。

また、連結子会社の第三者割当増資に伴う非支配株主との取引に係る親会社持分の変動により、資本剰余金が45,905千円増加しております。

これらの結果、当第3四半期連結会計期間末において資本剰余金が6,066,107千円、自己株式が465,936千円となっております。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

なお、法人税等調整額は、法人税等を含めて表示しております。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費（のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。）及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年3月1日 至 2023年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年3月1日 至 2024年11月30日)
減価償却費	218,011千円	260,252千円
のれんの償却額	120,337	44,477

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自 2023年3月1日 至 2023年11月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報  
(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	インテリ ジェント オート メーショ ン事業	アドオー トメーシ ョン事業	計			
売上高						
一時点で移転さ れる財又はサー ビス	601,397	1,179,966	1,781,363	251,245	—	2,032,608
一定の期間にわ たり移転される 財又はサービス	2,449,931	—	2,449,931	—	—	2,449,931
顧客との契約か ら生じる収益	3,051,329	1,179,966	4,231,295	251,245	—	4,482,540
外部顧客への売 上高	3,051,329	1,179,966	4,231,295	251,245	—	4,482,540
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	14,340	32,872	47,212	2,700	△49,912	—
計	3,065,669	1,212,838	4,278,507	253,945	△49,912	4,482,540
セグメント利益又 は損失(△)	160,189	345,883	506,073	38,849	△203,724	341,198

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、セールスアウトソーシング事業等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△203,724千円は、主に各セグメントに配分していない全社費用であり、報告セグメントに帰属しない四半期連結財務諸表提出会社の一般管理費用であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

4. 顧客との契約から生じる収益以外の収益はありません。

当第3四半期連結累計期間（自 2024年3月1日 至 2024年11月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報  
(単位：千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	インテリ ジェントオ ートメーシ ョン事業	アドオー トメーシ ョン事業	計			
売上高						
一時点で移転さ れる財又はサー ビス	552,124	1,120,040	1,672,164	668,159	—	2,340,324
一定の期間にわ たり移転される 財又はサービス	2,934,414	—	2,934,414	—	—	2,934,414
顧客との契約か ら生じる収益	3,486,538	1,120,040	4,606,579	668,159	—	5,274,739
外部顧客への売 上高	3,486,538	1,120,040	4,606,579	668,159	—	5,274,739
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	7,777	16,941	24,718	4,681	△29,399	—
計	3,494,316	1,136,981	4,631,297	672,840	△29,399	5,274,739
セグメント利益又 は損失 (△)	297,257	384,555	681,812	△19,965	△327,213	334,633

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、セールスアウトソーシング事業等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失 (△) の調整額△327,213千円は、主に各セグメントに配分していない全社費用であり、報告セグメントに帰属しない四半期連結財務諸表提出会社の一般管理費用であります。

3. セグメント利益又は損失 (△) は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

4. 顧客との契約から生じる収益以外の収益はありません。

2. 報告セグメントの変更等に関する情報

第1四半期連結会計期間より、従来「ロボットアウトソーシング事業」としていた報告セグメントの名称を「インテリジェントオートメーション事業」に変更しております。また、「ロボットトランスフォーメーション事業」としていた報告セグメントの名称を「アドオートメーション事業」に変更しております。この変更は報告セグメントの名称変更のみであり、セグメント情報に与える影響はありません。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

中間連結会計期間において、オートロ株式会社の株式を取得し、連結の範囲に含めたことに伴い、「インテリジェントオートメーション事業」セグメントにおいてのれんが発生しております。当該事象によるのれんの増加額は、660,242千円であります。